

創芸 造術

新型コロナウイルス感染拡大を受けた日本のアート産業の損害推計

2020/6/25

一般社団法人 芸術と創造
Platform for Arts and Creativity

【推計に関するお問い合わせ】

一般社団法人芸術と創造 代表理事 綿江彰禪

E-mail : watae@pac.asia

※本結果を記事等にてお取り上げ頂く際には必ずご連絡をお願いします。

日本のアート産業に関する市場規模と新型コロナウイルス感染拡大を受けた損害推計（6/25時点）

2019年の市場規模 ※

① 美術品市場：2,580億円

- 国内事業者からの購入 … 2,270億円
 - ・ 画廊・ギャラリー 982億円
 - ・ 百貨店 567億円
 - ・ インターネット 192億円
 - ・ アートフェア 176億円
 - ・ オークション 138億円
 - ・ その他 215億円
- 国外事業者からの購入 … 86億円
- その他（事業者以外からの購入） … 225億円

② 美術関連品市場：491億円

③ 美術関連サービス市場：519億円

- 美術館・博物館入場料 … 434億円
- アートプロジェクト消費 … 85億円

2020年3~5月の損害額

365億円

93億円

98億円

合計
556億円

※ 出所）「日本のアート産業に関する市場調査2019（一社）アート東京、（一社）芸術と創造

注）「①美術品市場」は、国内在住者による美術品の購入額の合計。「画廊・ギャラリー」、「百貨店」の損害額は、2020年3~5月の百貨店の「美術・宝飾・貴金属」売上の前年同月比の割合を元に算出（3月…27.6%減、4月…80.0%減、5月…80.0%減）。ともに日本百貨店協会発表資料より。「インターネット」、「その他の国内事業者」、「その他（事業者以外からの購入）」の損害は推計額に含めていない。3~5月の国内のアートフェア、国内のオークション、国外事業者からの購入は発生していないと仮定。

「②美術関連品市場」は、著名な絵画を複製したポスター・ポストカード、展覧会の図録・カタログ等の美術書、著名な絵画・彫刻等をモチーフとしたグッズ等の購入額の合計、「③美術関連サービス市場」は、美術館・博物館への訪問に係る入場料収入、主要なアートプロジェクトに係る直接消費額の合計。「美術館・博物館入場料」の損害額は、各都道府県立の美術館の3~5月の休館期間を基準として算出。「美術関連品」の多くは美術館・博物館で購入されていると考えられるため、「美術館・博物館入場料」の損害額が年間に占める割合を乗じて算出している。「アートプロジェクト消費」も同様。